



# 大 空 (たいくう)

令和元年度  
第 9 号  
3月 1日 (日)

## 贈 る 言 葉

校 長 齋 藤 和 哉

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

卒業を迎えた皆さんは、平成29年の春、大きな夢と希望を抱いてこの伝統ある山形中央高校に入学されたことと思います。以来三年間、学習や部活動などに励み仲間との友情を育みながら、充実した高校生活を送られたことでしょう。

振り返ると、皆さんが入学した年の夏には本県で45年ぶりに全国高校総体（南東北インターハイ）が開催されました。高校スポーツ最大のイベントでもあるインターハイで本県の高校生たちが選手として、あるいは競技・運営の補助員として活躍したことが思い出されます……。本校は普通科と県内唯一の体育科を併置している学校で、互いに励まし合い高め合いながら切磋琢磨する。校歌にもあるように強く明るく元気があって県内一勢いのある学校です。毎日朝早くから放課後遅くまで、教師と生徒が一緒になって勉学に、そして部活動に必死で取り組んでいる姿は頼もしい限りです。また、生徒会活動でも、朝のあいさつ運動や交通マナー運動などの地道な活動に加え、体育祭や中央祭などの行事では三年生の執行部を中心に企画を練り、下級生をリードして全校生が一つになって大成功に導いたことも良き思い出です。そして、放課後や夏休みの講習会、A0・推薦入試、就職試験に向けた小論文や面接の練習等々……。進路目標達成に向けて全力を尽くし、正月明けも学校で無心に勉強する姿があり、センター試験では150名の3年生（普通科の96.8%）が受験に挑みました。その後も二次試験や私大受験に向け頑張っている皆さんの姿を見て、必ずや目標を達成してくれるものと信じています。



さて、部活動での活躍は今年も目覚ましく、夏の南部九州インターハイでは6競技に出場（女子バスケットボール、ハンドボール、陸上競技、女子柔道、水泳、フェンシング）、陸上競技では3年の高橋辰壽君が男子8種競技で見事3位入賞するなど、今年も多くの上位入賞者を輩出し秋の国体でも活躍しました。野球部は夏の甲子園予選で決勝に進出、残念ながら5回目の甲子園出場は成りませんでした。プロ野球ドラフト会議で3年の村上舜君が福岡ソフトバンクから育成枠で指名を受け、2年連続でプロ野球選手が誕生しました。秋に行われた各種全国大会の県予選でも、ラグビー部が2年連続26回目の花園出場を決め、女子バスケ部は30連覇のかかった相手を撃破して初優勝を飾り、サッカー部は準決・決勝と粘り強い戦いで3年ぶり12回目の出場を果たしました。全国大会では上位進出は成りませんでした。どの部も県代表として堂々と戦ってくれたことをうれしく思います。そして、冬季競技では今年もスケート部が大活躍、インターハイでは女子が優勝3を勝ち取り総合4連覇を達成、男子も総合3位の好成績でした。その後行われた国体でも大活躍、3年男子の櫻井俊太郎君が1,500mで優勝したのは価値のある2連覇達成でした。更には、2年女子の高橋侑花さんがスイスで行われたユースオリンピックで見事銀メダルを獲得、3年男子の森野太陽君と女子の小坂凜さんもヨーロッパで行われた世界ジュニアの大会に日本代表として出場し活躍しました。

一方、文化部では吹奏楽部が今年も県の吹奏楽コンクールで金賞受賞、岩手県盛岡市で行われた東北大会に出場してここでも金賞を獲得しましたが、残念ながら全国大会出場は成りませんでした。しかし、日々の練習に向かう直向きな姿勢は立派でした。また、生物・科学部は佐賀県で行われた全国高校総合文化祭で県代表として立派に発表してきました。

結果はどうあれ、山形中央高校で三年間仲間とともに部活動に、勉学に一生懸命取り組んだことは、皆さんにとって一生の宝物となるはずです。これら一つひとつの活動が皆さんを大きく成長させるとともに、下級生の手本ともなって、本校にまた新たな歴史の一ページを刻んでくれました。

このように立派に成長した卒業生の皆さんも、それぞれの道に新たな一歩を踏み出します。どうぞ、これからはしっかりと自己の確立を目指して頑張ってください。そしていつの日か、「偉大な加藤条治先輩を超える人材」が出てくることを期待しています。

皆さんの前途に幸多からんことを祈念するとともに、保護者の皆様には、これまでの学校が賜りましたご理解とご協力に深く感謝と御礼を申し上げます。

**◎今冬も山形中央高校の各部が大活躍しました。紙面の都合上、スケート部の2名の選手から報告していただきました。**

#### **インターハイ学校対抗女子4連覇**

3年6組 小坂 凜

今年度も、各自が自己ベストを出すこと、インターハイ学校対抗において男女とも優勝することの2つを目標に掲げてスタートしました。そして、実現できたインターハイ学校対抗女子4連覇、このことをとても名誉に思います。山形中央高校スケート部の力をここまでつけてくださったのは、先生方や支援して下さる方々のおかげです。また厳しい練習を共に乗り越えてきた仲間、中でも力のある男子と一緒に練習できたことも、私たちが力をつけていくことができた要因です。様々な人の支えがあり、そこに自身の努力を積み重ねることができれば、今後もっと上に行くことができます。卒業を前に、自分自身も結果を出し続けていきたいと思うと同時に、後輩の頑張りや成長してく姿もとても楽しみです。これまでの温かいご支援、応援をありがとうございました。

#### **ユースオリンピックに出場して**

2年5組 高橋 侑花

私は1月にスイスで開催された第3回ユースオリンピック冬季競技大会に出場してきました。1500mでは目標としていた金メダルに1歩届かず銀メダルでした。たくさんの方に応援していただいていたこともあり、とても悔しかったです。しかし、この悔しさを大事にし、国内だけでなく国際大会で勝てる選手になりたいと、これまで以上に強く思うようになりました。そのためにも、今回4年に1回に巡り合わせ、とても貴重な経験をすることができたことを、来シーズンへ繋げていこうと思っています。この大会に出場して、多くの方の支えによってスケートができるということに改めて気づきました。これからも今大会での悔しさや感謝の気持ちを忘れず、頑張っていきます。応援ありがとうございました。

**◎激励金ありがとうございました！・・・「全国大会出場を支える会」より**

昨年12月に「山形中央高等学校全国大会出場を支える会」より、激励金のご協力をお願いしました。その結果、多くの保護者の方々からご賛同いただきまして、たくさんの激励金を頂戴することができました。本年度は、女子バスケットボール、ハンドボール、柔道女子、陸上競技、ラグビー、水泳、サッカー、スケート、スキー、フェンシング、生物化学部の全国大会出場に際し、激励金を拠出いたしました。誠にありがとうございました。